



すくすく育て

たがわっ子

春は危険が増えます 地域で守る子どもたち

田川市郡では今年に入り3件の不審者事案が発生しました。

1月には、伊田で帰宅中の女子児童が、後ろから歩いて近づいてきた男に追いかけられました。また、福智町や川崎町では、女子生徒が体を触られたり、目の前で下半身を露出されたりするわいせつ事案が発生しています。

どちらの児童・生徒も近くの民家に逃げ込むなどして、怪我はありませんでしたが、重大事件に発展する危険があります。また、これから暖かくなるにしたがって不審者が増えることも考えられます。そのため、教育委員会では下校時間帯を中心に、地域の人と一緒に青色パトカーで通学路を巡回し、子どもの「安全」を守る活動をしています。

また、学校や地域でも、校区活性化協議会をはじめ、PTAやボランティアのみなさんによる交差点での交通誘導など、子どもたちが安全に通学や地域での活動ができるよう、にさまざまな活動を行っています。

より多くの人が子どもたちに気を配り、見守っていくことが防犯の強化につながります。市民のみなさんのご協力をお願いします。



はばたけ！たがわっ子 「わたしの主張」

田川地区大会

2月4日、「わたしの主張」田川地区大会（県青少年育成県民会議田川地区協議会主催）が香春町民ホールで開かれ、田川市郡から選ばれた9人がそれぞれの想いを発表しました。

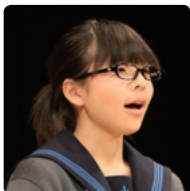
田川市代表は11月に開かれた田川市大会で優秀賞を受賞した村上花さん（鎮西中学校2年）と田中華さん（猪位金中学校2年）です。

村上さんは「わたしの宝物」と題して、いつも自分のそばで両親や友達が支えてくれる、そんな日々の幸せを見落としていたことを発表しました。これらの自分にとって「宝物」である人たちが大事にしていくと同時に、自分自身が周りを支えられる宝物だと思われたい人になりたいと主張しました。

田中さんは「私にとつての友達」と題して、将来に対する考え方にも影響するほど大切な友達について発表しました。そして、その友達のように、人に影響を与えたり、必要とされたりする人になるために自分を磨くことで、心の底からつながった友達をもちたいと述べました。なお、審査の結果、川崎町代表の世取菜摘さんと大任町代表の永原奈於さんが、8月に太宰府市で開かれる「少年の主張福岡県大会」に推薦されました。



▲村上花さん
(鎮西中学校2年)



▲田中華さん
(猪位金中学校2年)